

「青少年のための インターナショナル・アワード」の取組の紹介

平成24年4月11日

青少年の体験活動の推進の在り方に関する部会
文部科学省スポーツ・青少年局青少年課

青少年のためのインターナショナル・アワードとは

- 1956年にイギリスのエディンバラ公爵殿下の創設により「The Duke of Edinburgh's Award (DofE) デューク・オブ・エディンバラ・アワード」としてスタート。
- 奉仕活動、冒険旅行などを通じて、14～24歳までの青少年を対象に、自主性、協調性を育み、自信や自尊心を高めることを目的とし、行った活動の時間数等に応じて賞(アワード)を授与する取組。
- この賞(アワード)は、就職や進学、奨学金獲得などの際に評価されている。

青少年のための国際ナショナル・アワード活動内容

Service (奉仕活動)

Skills (技能・教養の習得)

Physical Recreation (運動系レクリエーション)

Adventurous Journey (冒険旅行)

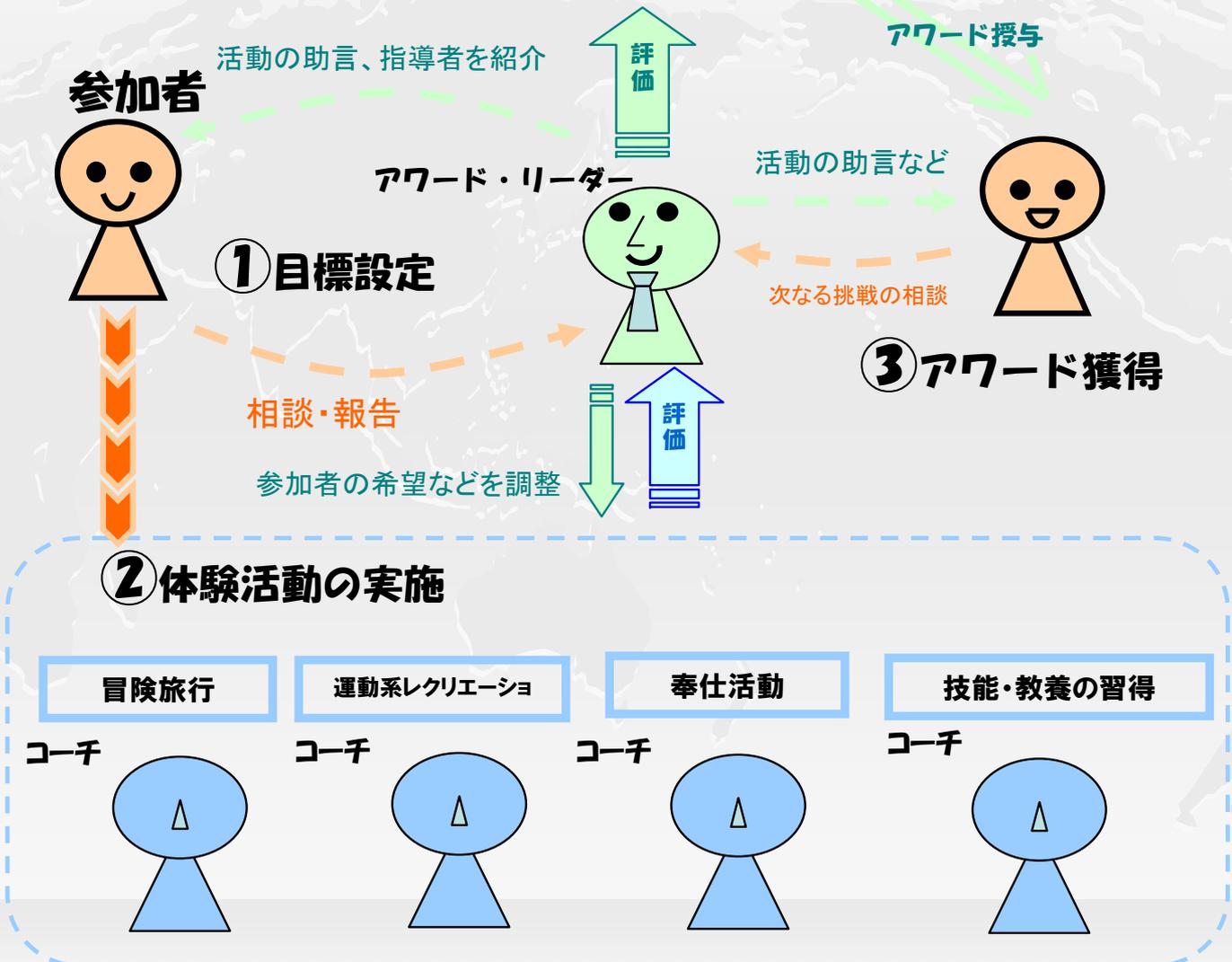
青少年のためのインターナショナル・アワードの3つのレベル

ブロンズ、シルバー、ゴールドとレベルが上がるにつれて、より高い目標設定とより多くの時間数が要求される。

例えば、ブロンズ・レベルでは、奉仕活動、技能・教養の習得、運動系レクリエーションは、3ヶ月から6ヶ月の期間に継続的に活動したことが評価される。また、冒険旅行は、1泊2日のグループによる活動が評価される。

参加からアワード取得までの流れ

青少年のための
インターナショナル・アワード事務局



青少年のためのインターナショナル・アワードの広がり

現在までに、131か国で実施されており、
約700万人の青少年が参加している。

- ◆現在、84万5千人の青少年がアワード獲得に挑戦中
- ◆62か国では国レベル(他は公的機関)で青少年のためのインターナショナル・アワードを運営

アジア太平洋地域の主な国の参加者数(2010年)

シンガポール	211, 536人
香港	53, 838人
オーストラリア	31, 187人
韓国	2, 231人
日本	54人

【事例1】 総合学院テクノスカレッジ(専門学校)

【国際ユースアワード】

□1993年から実施

□青少年のためのインターナショナル・アワード取得者数

ゴールド・レベル 1名 シルバー・レベル 3名 ブロンズ・レベル100名

□国際ユースアワード導入理由

国際ユースアワードは、自らチャレンジし自分の可能性を発見するきっかけとなる。それは、本学院のモットーである「天職につける人材の育成」につながることから、国際ユースアワードを導入することとした。

□国際ユースアワードの成果

- ・学生は 積極性と計画性が高まった。
- ・学生のプレゼンテーションにおけるパフォーマンス能力が向上した。

【事例2】 関東国際高等学校

【関東アワード】

□2000年から実施

□青少年のためのインターナショナル・アワード取得者数

ブロンズ・レベル263名

□関東アワード導入理由

本校では、「国際人として活躍できる日本人」を育てるため、学校外の活動を積極的に推進している。その評価指標として、関東アワードを導入することとした。

□関東アワードの成果

- ・生徒が新しい活動の楽しさに気づくことができた。
- ・生徒自身が計画を立てて、自ら努力する習慣を身につけることができた。
- ・関東アワードが、入試の面接での自己PR材料となっている。

受賞者の声



エマ・パーカー さん

約20年前にゴールド・レベルを取得。現在はブリティッシュ・カウンシルでプロジェクト・マネージャーを務める。

石井さつき さん

現在、イギリスの私立寄宿学校11学年(中学3年生)に在学中。今年度ブロンズを取得し、今後シルバー、ゴールドに挑戦予定。

